

4) 各種尿検体採取法

ポイント

- ・ 常在菌の汚染を避ける : 尿道口・外陰部を十分に清拭する
- ・ 中間尿を採取する : 膀胱炎, 腎盂腎炎などを疑う場合
- ・ 初尿を採取する : 男性のクラミジア, 淋菌による尿道炎を疑う場合
- ・ 乳幼児では採尿パックの使用が簡便である (ただし, 常在菌汚染のリスクは高い)
- ・ 保存する場合は2時間までは室温で保存する
2時間以上は冷蔵 (4~8℃, 24時間以内) で保存する
- ・ 蓄尿は培養検査に用いない

採取方法

中間尿

- 1) 採取前に手をよく洗う
- 2) 清浄綿 (滅菌生理食塩水が望ましい) で尿道口・外陰部を清拭する
(女性は前から後ろへ向かって, 新しい綿で数回実施する)
- 3) 初尿の10m l 以上は捨て, 中間尿を採取する

初尿

- 1) 採取前2時間以上排尿させない
- 2) 手洗い後, 尿道口・外陰部を清拭する (中間尿に準ずる)
- 3) 最初の10~20m l を採取する

尿道留置カテーテルからの採取

- 1) 必要に応じてチューブをクランプする (30分以上はしないこと)
- 2) 採尿ポートをアルコールで消毒後, 注射器で穿刺して採取する